



GOVERNOR'S Monthly Letter

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー月信

January 2021
No. 7

1

インドの仏教聖地の壁画に日本人画家を要請する

サンフランシスコ講和会議で、日本の植民地化から救ったジャヤワルナダ大統領は、同じスリランカ人のダルマパーラが日本の仏教界と深い絆で結ばれている事を良く知っていました。

ダルマパーラは1906年にサールナートで、後に初転法輪寺を建設することになる土地を購入します。近くに仏教遺跡が発掘されましたが、ダルマパーラは遺跡の保存をインド政府に願い出ます。その遺跡と遺物を保管するための僧院を大菩提会が建設することを条件に許可されます。ようやく1926年に工事が開始され、1931年初転法輪寺が完成。インド政府遺跡発掘総責任者はブッダの聖なる遺物を大菩提会に寄贈しました。落成式典には世界の仏教国から5万人以上の人々が集まり、後にインド共和国初代首相となるジャワハール・ラル・ネルー夫妻も参加されました。そこで、ダルマパーラはインドで衰退していた仏教と仏教芸術が日本には存在することを理解していましたので、日印協会を通し日本政府に「釈尊一代記」の壁画制作のため日本人画家の派遣を要請します。

要請を受けた文部省は高楠博士等と協議した結果、渡印経験もあり仏教美術に通じ、また日印教会とも縁の深い桐谷洗鱗画伯が選ばれました。ところが桐谷画伯は渡印前の1932年に急逝してしまいます。そこで、東京美術学校ならびにインド・アジャンタの石窟の壁画の模写などで桐谷と縁のあった野生司香雪が後任として選ばれインドに赴くこ



ガバナー 野生司 義光



とになりました。

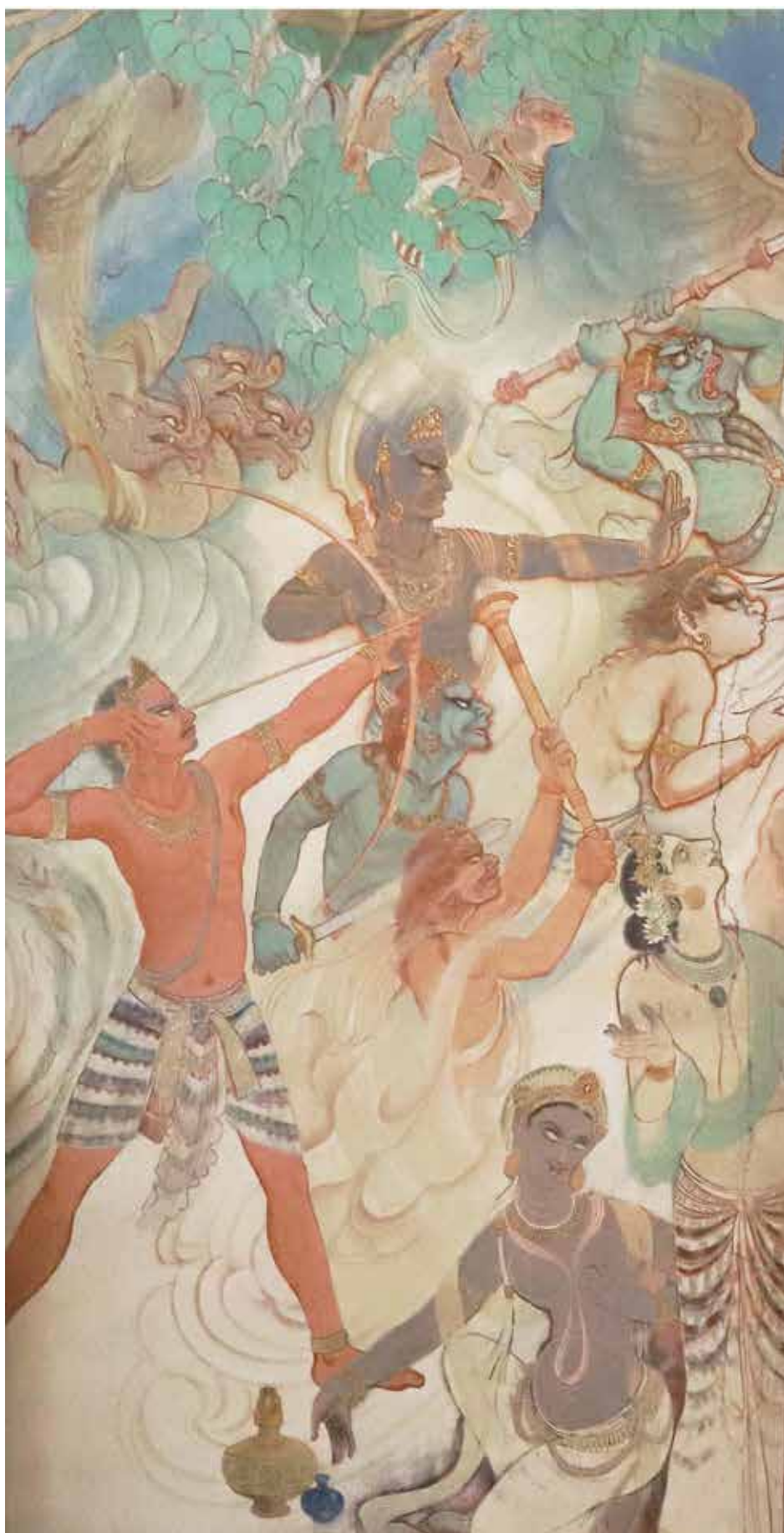
香雪は、1932年11月カルカッタに到着しました。カルカッタで香雪は詩聖ラビンドラナート・タゴールを訪問、又アジャンタ壁画模写の仲間であった旧知のムクル・デー（カルカッタ官立美術学校校長）にも協力要請、12月にサールナートに入りました。

1933年1月に、ダルマパーラは香雪の「降魔成道」の図を見て、これがアジャンタ洞窟の壁画に匹敵する規模で、また描かれた絵のすばらしさを賞賛したと言います。

私の祖父、野生司香雪が、今から約80年前（1932～1936年）、インドの仏教四大聖地の一つサールナート（鹿野園）の寺院に日本人画家として、足掛け5年の歳月をかけ、釈尊一代記の壁画を描きました。高さ4m余、全長44mの日本画の大壁画は、今ではインド人には国の歴史、仏教徒には仏伝の壁画として広く世界にも知られ、日本の芸術が日印のみならず国際文化交流にも貢献しています。

その壁画も、今ではインドの厳しい自然風土の中で剥落が目立ち始めました。香雪の精神を受け継ぐ、日本人の手でぜひ保全をとの口伝がサールナートのご住職より要請されました。この我が国の在外文化財でもある近代日本画の壁画は、今や人々に感動を与え続ける「世界の文化遺産」だとの各関係者からの意見に、その保全の必要性、責務を強く感じました。

皆様のご賛同を得て、広く募金活動を行い、壁画保全作業の実現に少しでも貢献できればと思います。ご支援ご協力を賜れば幸いです。



降魔成道
Assault by Mara with his host
and the Enlightenment

部分拡大



降魔成道

ピッバラ樹の下に座して、太子が悟りの座につこうとした時、天界にいた魔法マールはそれを知って三人の魔女を遣わして太子を誘惑しようとしてきました。薄衣の羽衣かかく、瓔珞の花美しく着飾った艶やかな魔女たちは、あらゆる媚の限りを尽くして、優しく舞い、麗しく歌いました。また、魔王は一億八千の鬼神を集め、弓を放ち、剣を閃かせて押し寄せました。獅子や熊、牛や馬の首を付けた悪鬼夜叉らが太子に迫りました。しかし、太子はことごとくこれを退けられました。太子の右手は地面につけた印、触地印と言い、悟りの瞬間を表します。



— 初転法輪寺仏伝壁画保全のための募金活動を行っています。— URL: <https://nosu.imfo/>
詳しくは募金事務局 (090-3186 - 2069 又は 087 - 889-0330) までお問い合わせください。

地区委員会 今年度の活動方針

(青少年奉仕委員会、インターアクト委員会、
ローターアクト委員会、青少年交換委員会、RYLA 委員会)

地区青少年奉仕委員会

地区青少年奉仕委員長
東京北ロータークラブ
大森 順方



今期はコロナ禍の中での船出となりましたので、青少年の命を守ることを第一に考え、感染対策は元より安全かつ無理をしない奉仕活動に徹することを方針と致しました。

インターアクトクラブは学校と顧問教師の判断により秋頃より徐々に活動を開始しました。ローターアクトクラブは、web ミーティングを主体に、対面会議も交えたハイブリッドの活動を年度始めより活発に行なっています。青少年交換委員会は、国際ロータリーの青少年交換プログラムの中止という指針のもと、委員会史上初の交換を行わない一年となりました。派遣予定学生ほとんど全員が、次年度での交換プログラム参加を希望しておりますので、その意を汲み、学生のモチベーションが下がらないようオリエンテーションを継続して行なっていますが、万が一、次年度においても青少年交換プログラムが実施できない場合を想定した Virtual Exchange(ヴァーチャル留学)の取り組みも考えています。RYLA 委員会は、新型コロナ感染の影響を最小限にできるよう RYLA 研修時期をロータリー年度末にずらした計画を立てています。各委員会とも知恵を絞り、工夫をして、青少年の奉仕活動の継続に勤しんでいます。

青少年奉仕委員会の役目は、それぞれの委員会の青少年の活動を包括的に取り組むことにより、リーダーを育成することにあると考えています。インターアクターから青少年交換プログラムに参加し、高等学校を卒業したらローターアクターになり、RYLA セミナーに参加するといったロータリーの縦座標。そして、インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、RYLALIAN (RYLA セミナー参加経験者)の垣根をなくし、歳の差があっても一緒に活動できるロータリーの平面座標。この両方の座標を交わせることで、三次元的空間で制約のないオープンな発想で青少年奉仕活動を行うことができるようになります。そして、この魅力的活動が良い土壌となり、リーダーを育成することに繋がると考えています。

今年度は2021年6月27日にインターアクター、ローターアクター、青少年交換学生及び ROTEX (青少年交換プログラム経験者)、RYLALIAN の合同活動報告会を予定しています。

地区インターアクト委員会

地区インターアクト委員長
東京東江戸川ロータークラブ
小内 賢一



2019-20年度インターアクト活動につきまして、新型コロナウイルスの影響により、前期にはなりますが、6月に予定されていたリーダーズキャンプの中止に加え、8月に沖縄で予定されていたインターアクト地区年次大会も中止となりました。また、インターアクト活動以前に、登校すら自粛していた学校が多く、通常の授業も行われない状況の中、まったく活動できておりませんでした。やっと、夏休み明けの9月に入りまして、登校が再開され、学校での例会が出来るようになった状況でした。

校外での活動としましては、9月27日日曜日にローターアクト主催の葛西臨海公園での清掃活動に、関東第一高校インターアクトクラブが参加し、今年度最初の校外活動となりました。その後、11月8日日曜日に安田学園インターアクトクラブ主催で墨田区にある錦糸公園での清掃活動に、関東第一高校、潤徳女子高校の2校が参加し、在京インターアクトクラブ3校で合同清掃活動を行うことが出来ました。その後、



11月8日に行われた、インターアクトの錦糸公園清掃活動。



9月27日 葛西海浜公園西なぎさでのインターアクト、ローターアクト共同清掃活動。

12月20日日曜日安田学園にてリーダーズキャンプ、1月24日日曜日にスカイツリーから錦糸町までの遊歩道での合同清掃活動、2月14日日曜日に卒業生地区合同表彰式を開催する予定でしたが、12月20日のリーダーズキャンプについては、12月に入ってから新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、生徒を集めて行う活動は、難しいとの意見もあり、やむなく延期となりました。

顧問教師会の先生方からは、インターアクトクラブは、生徒にとっては3年間しか活動出来ない学校がほとんどなので、今年もリーダーズキャンプを開催したいという意向があり、何とか今年度も行えないかと、開催方法を模索し、1泊2日の宿泊を伴うリーダーズキャンプは難しいということで、1日に短縮して行う予定でした。今のところ、年明けに改めて開催できればという状況です。

地区ローターアクト委員会

地区ローターアクト委員長
東京ロータリークラブ
遠山 明良



昨年度中に国際ロータリーがローターアクト関連で大きな規定変更を行ったことを受けて、ローターアクトは大きな変貌を遂げようとして居ます。第一に、18歳から30歳までの年齢制限のうち、上限が撤廃され、ローターアクトの立場がロータリアンに近いものに引き上げられました。これを受けて、各クラブはクラブ細則のうち年齢制限の項目を変更しました。

ローターアクトからロータリーへの移行を睨み、既に卒業してしまったローターアクターを取り込む作業として、7月にアクト学友を立ち上げました。また、ローターアクトの地区委員会への参加推奨を受けて、地区ローターアクト委員会には現役ローターアクト地区代表とアクト学友会から2名の計3名が外部委員として参加しています。

拡大、増強を睨み、ローターアクトの新設を模索しながら、鈴木代表は「クラブファースト」の標語を掲げつつ、他の青少年プログラムとのクロスプロモーションも積極的に行って居ます。広報活動としても、卓話活動を積極的に行い、ローターアクトNEWSを発行、ローターアクトサイトを運営して居ます。コロナ禍の下でもアクトはITを駆使して、活動を広



12月5日、ロータリアンも大勢参加したローターアクト地区行事、あきる野市管生の大沢の森植林活保全活動。

げて居ます。

在京12クラブ(内2クラブ休会中)と沖縄2クラブは、密を避けて屋外活動(屋外)、オンライン集会(OL)、ハイブリッド(H)集会を展開しました。7月11日地区献血(H)、8月30日会長幹事会(OL)、9月2日ローターアクトを学ぼう(インターアクト、OL)、9月26日ローターアクトを学ぼう(他地区の活動 OL)、9月27日ローターファミリー合同清掃活動(屋外)、10月4日地区RA代表ノミネー演説会(H)、10月31日ローターアクトを学ぼう(RYLA、H)、11月7日大沢の森森林保全活動(下草刈り、屋外)、11月8日地区RA代表エレクト投票会(H)、11月15日会長幹事会(H)、12月5日大沢の森森林保全活動(植樹、屋外)、12月6日ROTEX交流会(O)。

今後共提唱クラブからのサポート、行事参加を宜しくお願い致します。



12月5日、あきる野市菅生の大沢の森で行われた植樹活動。

地区青少年交換委員会

地区青少年交換委員長
東京ロータークラブ
安藤 公一



本年度、青少年交換委員会委員長の安藤公一です。青少年交換委員会では、本来は今年の夏から56期派遣生としてそれぞれの派遣国に行っているはずだった学生10名が、現在も日本に残り、来年度派遣の可否に関する決定を待っている状況です。高校二年生の学生もあり、受験等の事情か

ら現時点で9名が来年度の派遣を希望しております。来年度の派遣の可否に関しましては、RIJYEMの方針を踏まえた上で1月に決定し派遣生に通達する予定です。

新型コロナウイルスの影響でフィールドトリップやサマーキャンプの実施が困難となり、現在は毎月のオリエンテーションと月二度の裏千家今日庵さんでの茶道のお稽古のみの活動となっています。来日生もおらずイベントも少ない上に、自身の派遣がどうなるか分からないという非常に不安な状況に置かれている派遣生が少しでも楽しめるよう、12月にはクリスマス会の開催を検討しております。新型コロナウイルスの感染状況もますます先が読めなくなり、非常に厳しい現状ではありますが、委員会として派遣生たちの安全を第一に考え今後も活動してまいります。

ローテックス委員長
第53期青少年交換学生
小宮 一航

53期派遣生でROTEX委員長を務めております小宮一航です。ROTEXは派遣から帰国して3年以内の学生が青少年交換委員会の運営をサポートする組織です。

例年はフィールドトリップやジャパントアールなど様々なイベントの企画を担当しますが、本年度は茶道のみが主な活動になっております。来日生のいないお稽古にはまだ慣れませんが、派遣生たちが少しでも楽しい思い出を残すことができるよう努めています。

また、12月6日にはローターアクトとの交流会をオンラインで実施しました。ROTEXとローターアクトがそれぞれの活動を理解し、今後長期的な協力体制を築いていくことを目標としております。



12月6日、オンラインで行われたローテックス、ローターアクトの交流会

地区 RYLA 委員会

地区 RYLA 委員長
東京武蔵野中央ロータリークラブ
岩井 昭治



RYLA 委員会は発足してまだ3年目を迎えたばかりの委員会でございます。まずは主な活動内容からお話し致します。RYLA 委員会は、RYLA セミナーという2泊3日の宿泊セミナーを1年に1回開催することが主な活動となっております。それは、地域社会の(20歳～30歳)若者の指導力及び善良な市民としての資質や個人の能力を伸ばすことを目的とした教育セミナーです。

RYLA (ライラ) とは Rotary Youth Leadership Awards の頭文字を取ったもので日本語では、ロータリー青少年指導者養成プログラムと訳します。日本語訳から想像しますと、リーダーシップ講座のようなイメージを持ちますが、実際はそれとは全く異なるものでございます。当地区で行う RYLA は、リーダーシップ論を教える技術教育ではなく、「人間は本来如何にあるべきか?」、「今まで如何に生きてきたのか?そしてこの先どのように生きていくべきか?」を問う倫理教育・道徳教育を根底において構成されたプログラムでございます。

具体的なセミナー内容は、大自然の中で組織キャンプを行い、文化的孤島という非日常的な状況を意図的に造りだし、集団での共同生活をするを体感してもらいます。そして受講生を小グループに分けて、あるテーマについて

深く長いディスカッションを行い、そしてグループから1つの答えを導き出すというプロセスを経てもらいます。そうすることによって、他者と自分との違いを認め、理解し、その中で、自分を見つめ直し、自分というものを再確認します。又、そのプロセスを経ることによって、もうひとつの変化が起こります。それは「RYLA の親睦は一夜にして出来上がる」と言われているほど、受講生同志の信頼関係が生まれます。

当地区の RYLA はテーマの「心にふれ合う」に拘り、参加した受講生に自身の変化や成長する機会を与えたいと願っております。今年度のセミナーはコロナの影響で2月から2021年6/18(金)～20(日)に延期をしました。会場は東京あきる野市「戸倉しろやまテラス」でコロナ対策を充分準備したうえで開催する予定でございます。



第2回 RYLA セミナーで講義をする嶋村ガバナーノミニ。



今年1月に沖縄県金武町で開催された、第2回 RYLA セミナー。セミナー中はグループ単位で常に行動。いつも二人のロータリアンが寄り添う。

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ロータリー財団メジャードナー

レベル3 戸田 一誠 (東京練馬西)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

6回 加藤 幸男 (東京練馬西)
 4回 鈴木 一成 (東京新宿) 小原 武夫 (東京練馬西)
 3回 中井川 栄和 (東京練馬西) 大野 達郎 (東京江戸川)
 梅田 巖 (東京江戸川)
 2回 佐野 一信 (東京城東) 渡辺 孝至 (東京城東)
 1回 石鍋 元章 (東京江北)

ポール・ハリス・フェロー

富永 英久 (東京セントラルパーク) 榛村 浩一 (東京セントラルパーク)
 榎本 純 (東京セントラルパーク) 橋本 国彦 (東京セントラルパーク)
 岩井 昭治 (東京武蔵野中央)

ベネファクター

岡部 安治 (東京新宿)

米山功労者・メジャードナー

23回 出光 昭介 (東京)
 18回 田辺 信彦 (東京) 服部 支朗 (東京荒川)
 清水 卓治 (東京本郷)
 17回 廣田 健史 (東京向島)
 16回 新倉 康榮 (東京豊島東)
 15回 加藤 幸男 (東京練馬西)

13回 西脇 修 (東京紀尾井町) 寺 紘一 (東京荒川)
 竹内 渥躬 (東京荒川)

11回 滝澤 健一 (東京向島) 石川 輝夫 (東京向島)

米山功労者・マルチプル

8回 森田 富治郎 (東京)
 7回 井上 久子 (東京荒川)
 6回 清水 満昭 (東京) 榎本 敏昭 (東京向島)
 5回 板橋 秀幸 (東京向島) 河原 俊一 (東京向島)
 秋庭 伸价 (東京向島)
 4回 Dyck Richard (東京) 斉藤 実 (東京臨海)
 3回 小川 守一 (東京向島)
 2回 鈴木 一行 (東京神田) 岡部 安治 (東京新宿)
 岩楯 信一 (東京江戸川)

米山功労者

岩井 睦雄 (東京) 北城 格太郎 (東京)
 小林 宏 (東京北) 尹 世玲 (東京後楽)
 岡江 保彦 (宜野湾)

2020年11月30日分まで 敬称略 順不同

会員数報告

2020年7月1日クラブ数 70 RC
 2020年7月1日会員数 2,868 名
 (内女性) 204 名
 2020年11月末クラブ数 70 RC
 2020年11月末会員数 2,953 名
 (内女性) 216 名
 2020年11月入会者 27 名
 (内女性) 11 名
 2020年11月退会者 14 名
 (内女性) 1 名
 2020-21年度入会者 141 名
 2020-21年度退会者 56 名
 2020-21年度会員増減数 85 名

東京池袋西ロータリークラブ

たじま ゆきお 会員
田島 幸男 会員

逝去日 2020年11月20日 満76歳
 入会日 2004年10月25日
 有限会社田島企画 代表取締役



東京小石川ロータリークラブ

くぼた むねかず 会員
久保田 旨一 会員

逝去日 2020年11月27日 満90歳
 入会日 1977年7月29日
 税理士法人錦会計事務所 代表社員
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 ベネファクター
 米山功労者マルチプル



ガバナー月信担当地区副幹事 平井憲太郎 (東京池袋西 RC)